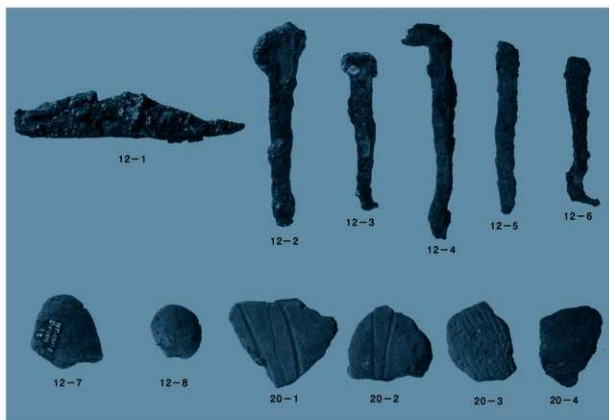
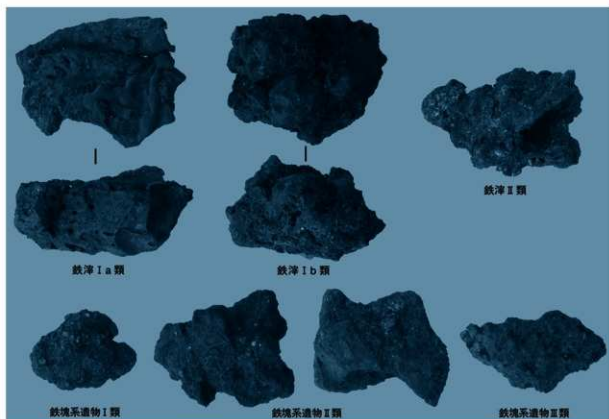


27 燧壁



28 鉄製品・土製品・縄文土器



29 鉄滓サンプル

報告書抄録

ふりがな	ふくしまくうこう・あぶくまみなみどうろいせきはつつつようさほうこく							
書名	福島空港・あぶくま南道路遺跡発掘調査報告21							
シリーズ名	福島県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第476集							
編著者名	山元 出							
編集機関	財団法人福島県文化振興事業団 遺跡調査部 遺跡調査課 〒960-8115 福島県福島市山下町1-25 TEL 024-534-2733							
発行機関	福島県教育委員会 〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16 TEL 024-521-1111							
発行年月日	2010年11月26日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯 ***	東経 ***	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
燧石 A	福島県石川郡 平田村大字西 山字壘石	503	00057	37 12 33	140 32 05	20090427) 20090527	150㎡	道路(あぶくま 高原道路)建設 に伴う事前調査
燧石 F	福島県石川郡 平田村大字西 山字壘石	503	00148	37 12 34	140 32 11	20090415) 20090731	1,000㎡	
所収遺跡名	種類	主な時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
燧石 A	その他の 生産遺跡	中世・近世	土坑 焼土遺構	2基 1基	なし	木炭焼成土坑と焼土遺構を確認した。		
燧石 F	製鉄跡	中世・近世	平場 製鉄炉跡 塵滓場 木炭窯跡 土坑	2ヶ所 1基 1ヶ所 1基 14基	織文土器 鉄製品 羽口 炉壁 鉄滓	製鉄炉を構築した平場を2ヶ所確認。うち1ヶ所は製鉄炉跡の調査を行い、大型で方形箱形の地下構造を伴うことを確認。木炭窯跡は半地下式で製鉄炉に伴う。土坑は大半が木炭焼成土坑。		
要 約								
<p>燧石F遺跡は、阿武隈高地中の丘陵尾根東斜面に立地する。製鉄炉を構築するために造成された平場2ヶ所を確認し、うち尾根先端部に位置する1号平場は、大型で方形箱形の掘形を伴う1号製鉄炉跡が構築されている。平場は炉基部が台状に掘り残され、両脇が一段低い作業場となる規格的な配置である。鉄滓は約9ヶが回収された。これらの遺構には、円柱状で外面に十字に交差する溝のある羽口が伴う。平場下の斜面には1号木炭窯跡とする半地下式の土窟が存在し、製鉄採業に伴うものと考え得る。遺構・遺物の特徴から阿武隈高地南部に特有の中世～近世の野たたら跡と考えられる。</p> <p>燧石A遺跡は、燧石F遺跡と同一丘陵内の谷部に立地し、製鉄採業に伴う木炭生産が行われたと考えられる。</p>								

福島県文化財調査報告書第476集

福島空港・あぶくま南道路遺跡発掘調査報告21

燧石A遺跡
燧石F遺跡

平成22年11月26日発行

編 集	財団法人福島県文化振興事業団 遺跡調査部		
発 行	福島県教育委員会	〒960-8688	福島市杉妻町2-16
	財団法人福島県文化振興事業団	〒960-8116	福島市春日町5-54
	福島県土木部	〒960-8670	福島市杉妻町2-16
印 刷	北斗印刷株式会社	〒965-0052	会津若松市町北町大字始字深町67-2